

# みずえだに新聞

## 院長のささやき

～さくら～

4月になり、皆さんそれぞれの立場で新たなスタートを切られたかと思えます。いろんな思いを胸に心も弾むこの時期ですよねえ。この時期とにかく目に留まるのが満開に咲き誇った『桜』です。日本の国花でもあるこの桜。僕も大好きな花です。今思えば、小学校、中学校、高校、そして大学と常にこれからの出発点には必ず、それこそ字の如く、華を添えてくれて自分を祝福してくれているように感じていました。そういう意味では自分のとってはこれからの新しい未来には必要不可欠なもの象徴といった感じでしょうか。みずえだに歯科は今年、区切りの10年目を迎えます。前号でもお話ししましたように新たな気持ちでこれからも真正面から皆様と向き合って、誠実な診療を心掛けたいと思っております。実は「みずえだに歯科」法人名を「医療法人桜和会」といいます。そうです、

Vol. 15  
2016年4月  
春号



もう皆さんお分かりだと思います。ちゃんと『桜』を入れてあるんです。自分では医院の院木として位置付けています。開院の時はどうしても駐車場に桜の木を植えたくて業者さんにはかなり無理をさせていただきました。その甲斐あって、毎年きれいな花を咲かせてくれると自分も心が和みますし、患者さんも「そめいよしの」よりも1か月近く早く満開を迎えるこの桜に「きれいだね。」と言って下さり、とても嬉しく思います。「桜和会」の「和」はこの心が和むという意味とあと従業員一同、和を持って、一丸となって診療に取り組もうという意味から付けました。「桜和会（おうわかい）」というネーミングは自分でもとても気に入っています。この時期になると心を新たにこれからも頑張ろうと言う気持ちになります。ちなみに今年の1月に開院十周年を記念しまして、桜の木を記念植樹しました。小さいながらもこの春、花を咲かせてくれました。この桜の成長に負けないように我々自身も成長していかななくてはと改めて思うことでした。



まだちっちゃいですがこんなに花を咲かせてくれました。早く大きく成長してくれよ！



みんな、飲んでますかあ？満開の桜、きれいですねえ。でももしかして花より団子状態？

## 花見大会

恒例の同級生の会社との合同の花見大会を4月2日（土）開催しました。今年は時期といい天候といい最高の日に恵まれました。満開の桜の花の下で美味しいものを食べながら、お互い交流をはかり、普段はなかなかしないような内容の会話をしたり、とても有意義なひと時を過ごすことが出来ました。あまりの気分の良さにちよつと飲みすぎてしまった人もいたようですが、それも愛嬌です。是非また来年も企画しようと思えます。

# 医療得々情報

落語こぼれ斬

## 梨の実と歯痛

江戸時代、歯が痛くなると口中医という現代の歯科医院のようなところで、主に抜歯してもらっていました。一般庶民には治療費が高く、通うことが出来なかつたようです。では、どうしたのか？

所謂、加持祈祷を行ったのです。具体的には、「九頭龍大神を祀っている戸隠神社（長野県長野市）で、歯を患った者が3年間『梨』を絶って参拝すると治る」という言い伝えがあり、信仰したようです。戸隠神社に行くことが出来ない江戸庶民は、梨の実に自分の名前と痛む歯の場所を、例えば「右上の奥から3番目」などと書いてから神社のある戸隠山の方向を向いてお祈りし、その後、梨の実を川へ流したと言われています。では、なぜ梨の実を絶ったのでしょうか？昔、梨の実に含まれている酸で歯が解けると思われていたようで、また、梨の実を食べるとその酸によって歯が白くなるとも考えられていたようです。現在では梨の実に含まれているソルビトールはキシリトールと同じ糖アルコールの仲間です。虫歯菌の増殖を抑える働きがあるとされています。

時代が変わると果物の立場も色々変化するようです。ちなみに、落語にこの「むし歯と梨の実」が登場するのは「佃祭」という斬です。

余談ですが、梨の実は昔は亜梨（あり）の実と言いました。「なし」という言葉を忌み嫌ったためです。その他にも、「スル」という言葉も嫌って、「スルメ」を「アタリメ」、「すり鉢」を「当たり鉢」と言い換えていました。日本人は何て縁起をかつぐ民族だろうとつくづく思います。

## 落語『佃祭』

神田お玉が池、小間物屋・次郎兵衛さんが佃島で開かれる、住吉神社の大祭、〃佃祭り〃の賑わいを見に行った。暮れ六つの〃しまい船（最後の便）〃に乗り込もうとする時、一人の女性に引き留められ、乗り損なって帰れなくなった。彼女曰く「3年前吾妻橋から身投げをしようとした時に、5両のお金を恵んでくれて助けてくれた。その人が旦那さんではありませんか？」「その様なことがありましたっけ」、「そうです。やっと思つきました」、「はつきりと思いで出ましたが、帰ることが出来ませんよ」。「家は漁師だから舟でお送りしますので、是非我が家へ」と招かれて落ち着く。外がザワザワと騒がしくなるので、火事か喧嘩かと聞くと、しまい船が沈んで一人助かっていると言ふ。次郎兵衛さんは泳げないので丸死に一生を得て、彼女に逆に感謝する。亭主の漁師・

## 今回の言葉

いんたむきあつたよ、

あつてい

金田正太郎

ミシエル・ド・モンテーニュ

（フランスの哲学者）

金太郎が帰って来て、お互いに感謝をしあい、ヤキモチ焼の奥さんの手前にながなんでも帰りたい次郎兵衛さんに、救護が落ち着いたら、後で送るからと酒を勧めて歓待する。次郎兵衛さんお家ではその情報を知って、手回し良く葬儀の準備万端整えて、執り行っている。奥方は悲観にくれてみると、金太郎に送られ戻ってきた次郎兵衛さん、彼と別れて家に着くと、葬儀の真っ最中。お互いビックリしながら、無事だったことを祝いながら感謝する。経を上げていた住職が帰り際、「情けは人の為ならず」と説教、同席者みんな納得しあう。それを聞いていた、輪の中の与太郎さん、人間良いことをすると必ず良いことがある。と、ガツ、ガガンと頭の芯まで感じて、自分の財産を売り払い、五両の金を作って、身投げを捜す。3日目にやっと思つて喜んで止めにはいった。「私は歯が痛いから涙ぐんでいた」、「だって袖に石が入っているじゃないか」、「これは戸隠に納める梨ですよ」。

# スタッフ便り

今号から数回に分けて、スタッフからの耳寄り情報をお届けしたいと思えます。普段は見られない、スタッフの近況や情報など楽しみにご覧ください。

## 歯科助手

### 本庄利恵

仙巖園に『徒然庵』というお茶室があるという事を20年以上も茶道をしていながら、全く知らなかった私に改装をしたという情報が舞い込んで来ました。その事を茶道の友達に話す機会があり、10名ですがちっちゃな茶会を先日開くことができました。普段のお稽古は洋服で行いますが、この日はちやんと着物に着替え、懐石料理と抹茶でおもてなしをさせていただきました。2か月前からどんなテーマにするか、料理は何にするか話し合いをしていましたが、どうしても顔を合わせる

になるかなあと心配していましたが、そこはみんなの協力ですべてもいいお茶会になりました。実践で学ぶことが多くあり、まだまだ知らないことばかりで、とても勉強になったことと、友達の大切さが本当に身に染み渡った今回のお茶会でした。また、鹿児島島人なのに地元のことを意外と知らないことが多いという事も痛感しました。『徒然庵』に関しては、まさか一般人が使えろとは思っておらず、ちよつとの勇気で何倍もの喜びを得た気分になりました。ただ「改装したんだって。」という話で終わるところでした。友達の一言で、日常とは違うひと時を体験する事が出来ました。これからは一人では無理ですが友達といろんな所でリフレッシュして行こうと思います。



## 受付

### 今掛真菜

3月20日(日) 天気もいいし、とにかく美味しいものを食べてゆつくり温泉にでも入りたいという目的で「鹿児島島の温泉もいいけど、たまには少し離れた所に行きたいよね。」となり、友人と熊本の人吉へ日帰り温泉旅行を満喫して来ました。いつもの感じ

でずっとネットに頼りっぱなしでしたが、雰囲気のいい隠れ家カフェを見つけた。『kura cafe』というお店で、料理はもちろん美味しく、お店の庭がすごく広いので景色を見ていと時間を忘れてしまうような場所でした。カフェ好きの方には是非オススメしたいお店です！ランチの後は温泉を探す途中で神社が見えたので参拝してみたら、国宝に登録されている『青井阿蘇神社』だということを知りました。立派な神社なのでたくさんパワーをもらって、何かいいことありそうな気がします。(笑) そして人吉温泉の中でも民間施設で、昔ながらの温泉という感じの「いわい温泉」

へ行き、とっても気持ち良かったです。やっぱり露天風呂は最高でした。一日の終わりに心も癒されました。というように、のんびりとした最高の休日になりました♡

もっと知らないところに行って色々なものを見たり、触れたり出来たらいいなと思います。皆さんも何か新しい発見があれば是非お話聞かせて下さいね。



たまにはこういう休日もいいもんですよ



# 幸恵先生の 歯のはなし



四月になり、新学期や新年度を迎え、気分も何となく華やぐ季節になりました。私自身の変化としては、三月に無事に〇〇回目の誕生日を迎えることが出来ました。誕生日は生きているだけで、「おめでとう」と言ってもらえる素敵な日です。有り難いことに、スタッフは、毎年趣向を凝らしたプレゼントを用意してくれます。この歳になって家族以外からプレゼントを貰うことは、とても嬉しいことです。プレゼントその物だけでなく、日頃の話から、私が好きな物や興味を持っていることを考えてくれているという事が余計に嬉しく思えます。

今度のマイブームは「ムーミン」に登場するスナフキン。昔から大好きでしたが、最近ムーミングッズが巷に増えてきました。スナフキンはミニマリスト(必要最低限の物で生活する人)の代表です。

そして、多くの名言を残しています。そんな名言のひとつ、「運命のドアも玄關のドアも開ける鍵穴は小さいものだよ。」その時には深く考えず行動したことや出会いが、後から考えるとあの時が運命の分かれ道だったと感じることはたくさんあります。

患者さんとの出会いもそのひとつです。私たちは、毎日様々な患者さんとお会いします。何年も通っていらつしやる患者さんとは、趣味や最近の体調、習い事や旅行のお話など聞かせて頂くこともあります。初めてお会いする患者さんは、患者さんも緊張していらつしやいますが、こちらも少し緊張しながらお話を伺います。むしろ歯や歯周病は生活習慣と関連があるため、患者さんとお話して日頃の生活をお聞きすることはとても大切なことです。新年度になると、環境の変化があつたり、

花粉症などで口の健康に影響のある出来事が多くなります。そんな方にもよいアドバイスができると思います。

スナフキンは私にとって理想の男性。それを言うと「おいは、『ムーミン谷』じゃなくて『みずえ谷』と主人。当院のドアを開けたことを運命の出会いと思つていただけるよう、スタッフ共々、これからも頑張ります。

## 受付 今掛 歯科助手資格取得

昨年度、歯科医師会主催の歯科助手講座を受講し、見事合格しました。更にスキルアップし、皆様の役に立てればと思います。



## 誕生日会 IN 城山



2月、3月生まれの4人のために、奮発して城山観光ホテルで誕生日会を催しました。さすがに美味しかったです。夜景やイルミネーションもとてもきれいでした。

